

# 市町村の乳・子宮頸がん検診の状況

山梨県 健康増進課がん対策推進担当

# プロセス指標とは

市町村の行うがん検診の各プロセス（対象者への受診勧奨、スクリーニング、要精検者への精密検査受診勧奨、精密検査の精度、事業評価）が適切に行われているか評価するための指標。

各市町村別のプロセス指標値については、参考資料1を参照。

# 1 乳がん検診 プロセス指標の状況

## 1 R3年度 受診率・受診者数

- ・受診率は、全国平均より高いものの年々低下。
- ・受診者数は、R3年度はR2年度と比較して増加したものの、R1年度には及ばない。

## 2 R2年度 精検受診率等

### 【要精検率】

- ・許容値より7.8%低く、前年度の全国値より2.8%低い。

### 【精検受診率・未受診率・未把握率】

- ・精検受診率が県目標値には達しないものの許容値を超え、上昇傾向にある。

### 【がん発見率】

- ・許容値より0.06%低い。

### 【陽性反応適中度】

- ・許容値より2.8%高く、前年度の全国値とほぼ同じ。

## <乳がん検診 各プロセス指標値の年度推移（国と県の比較）> （許容値の範囲外は赤字） （網掛けは県の調査による速報値）

	受診率(%)※1		受診者数 県	要精検率(%)		精検受診率(%)		未受診率(%)		未把握率(%)		がん発見率(%)		陽性反応適中度(%)	
	国	県		国	県	国	県	国	県	国	県	国	県	国	県
県目標値	60.0 以上			11.0 以下		90.0 以上		5.0 以下		5.0 以下		0.23 以上		2.5 以上	
許容値						80.0 以上		10.0 以下		10.0 以下					
H29	17.4	25.5	27,367	6.3	4.1	88.8	84.5	3.0	9.4	8.2	6.1	0.30	0.18	4.8	4.3
H30	17.2	25.2	26,897	6.3	3.7	89.2	86.2	2.9	7.4	7.9	6.5	0.32	0.22	5.1	6.0
R1	17.0	24.8	25,384	6.0	3.5	89.6	84.7	3.0	8.6	7.4	6.7	0.31	0.20	5.2	5.7
R2	15.6	22.8	20,044		3.2		87.5		8.0		4.5		0.17		5.3
R3		22.0	22,009												

※1 受診率は、「(当該年度と前年度の受診者の合計 - 2年連続受診者数) / 当該年度の対象者数」で算出される。また、計数が不詳の市町村を除いた値。

# 2 子宮頸がん検診 プロセス指標の状況

## 1 R3年度 受診率

- ・ 受診率は、全国平均より高いものの年々低下していたが、R3年度から統一運用を開始し、全市町村において指針に基づく年齢、間隔で検診が実施されたことにより、2年連続受診者数は減少し、R1年度と同レベルまで改善。

## 2 R2年度 精検受診率等

### 【要精検率】

- ・ 許容値を0.1%超えている。

### 【精検受診率・未受診率・未把握率】

- ・ 精検受診率が許容値に達せず、未把握率も依然として高いが、R3からの統一運用開始により改善が見込まれる。

### 【がん発見率】【陽性反応適中度】

- ・ いずれも許容値より低いですが、精検受診率及び未把握率が許容値を超えるため正確な評価が不能。

## <子宮頸がん検診 各プロセス指標値の年度推移（国と県の比較）> （許容値の範囲外は赤字） （網掛けは県の調査による速報値）

県目標値 許容値	60.0 以上		受診者数 県	1.4 以下		90.0 以上 70.0 以上		5.0 以下 20.0 以下		5.0 以下 10.0 以下		0.05 以上		4.0 以上		
	受診率(%)※1 国	県		要精検率(%) 国	県	精検受診率(%) 国	県	未受診率(%) 国	県	未把握率(%) 国	県	がん発見率(%) 国	県	陽性反応適中度(%) 国	県	
	H29	16.3	19.9	35,092	2.1	1.4	75.2	64.0	6.7	9.0	18.1	27.0	0.03	0.02	1.5	1.1
	H30	16.0	19.7	34,091	2.1	1.5	75.5	67.8	6.6	12.1	17.9	20.2	0.03	0.02	1.3	1.2
	R1	15.7	19.3	30,293	2.2	1.5	74.8	60.3	6.4	11.4	18.9	28.3	0.02	0.01	1.1	0.8
	R2	15.2	18.5	28,369		1.5		69.2		7.4		23.4		0.02		1.2
	R3		19.2	22,875												

※1 受診率は、「(当該年度と前年度の受診者の合計 - 2年連続受診者数) / 当該年度の対象者数」で算出される。また、計数が不詳の市町村を除いた値。

# 3 コロナ下における山梨県のがん検診

## 新型コロナウイルス感染症による市町村がん検診への影響について

(R3年度の受診者数は山梨県が調査した速報値であり、地域保健・健康増進事業報告に基づいた確定値でない)

### ○ 受診者数への影響 (※1 本資料では、2年連続の受診者も計上)

	受診者数(人) (受診率)				受診者数の減少率		
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	H30→R1	R1→R2	R1→R3
胃がん検診 50～69歳、2年ごと※1	19,987 (13.0%)	19,179 (11.4%)	14,165 (10.2%)	18,439 (10.9%)	△4.0%	△26.1%	<u>△3.9%</u>
大腸がん検診 40～69歳、1年ごと	50,343 (14.6%)	48,660 (14.3%)	39,017 (11.7%)	44,023 (13.3%)	△3.3%	△19.8%	<u>△9.5%</u>
乳がん検診 40～69歳、2年ごと※1	26,897 (25.2%)	25,384 (24.8%)	20,044 (22.8%)	22,009 (22.0%)	△5.6%	△21.0%	<u>△13.3%</u>
子宮頸がん検診 20～69歳、2年ごと※1	34,091 (19.7%)	30,293 (19.3%)	28,369 (18.5%)	22,875 (19.2%)	△11.1%	△6.4%	※2
肺がん検診 40～69歳、1年ごと	55,783 (16.2%)	53,819 (15.8%)	42,826 (12.8%)	48,492 (14.7%)	△3.5%	△20.4%	<u>△9.9%</u>

令和2年度の受診者数、R1→R2の増減率については、地域保健・健康増進事業報告による確定値に修正したため、令和3年度に示した資料と数値が異なる。

※2 子宮頸がん検診については、R3年度から統一運用を開始し、全市町村において指針に基づく年齢、間隔で検診が実施されたことにより対象者が減少した影響を受けるため、受診者数の減少率(R1→R3)は未算出。

### ・ 大きく受診者が減少したR2年度と比べ、R3年度の受診者数は回復している。

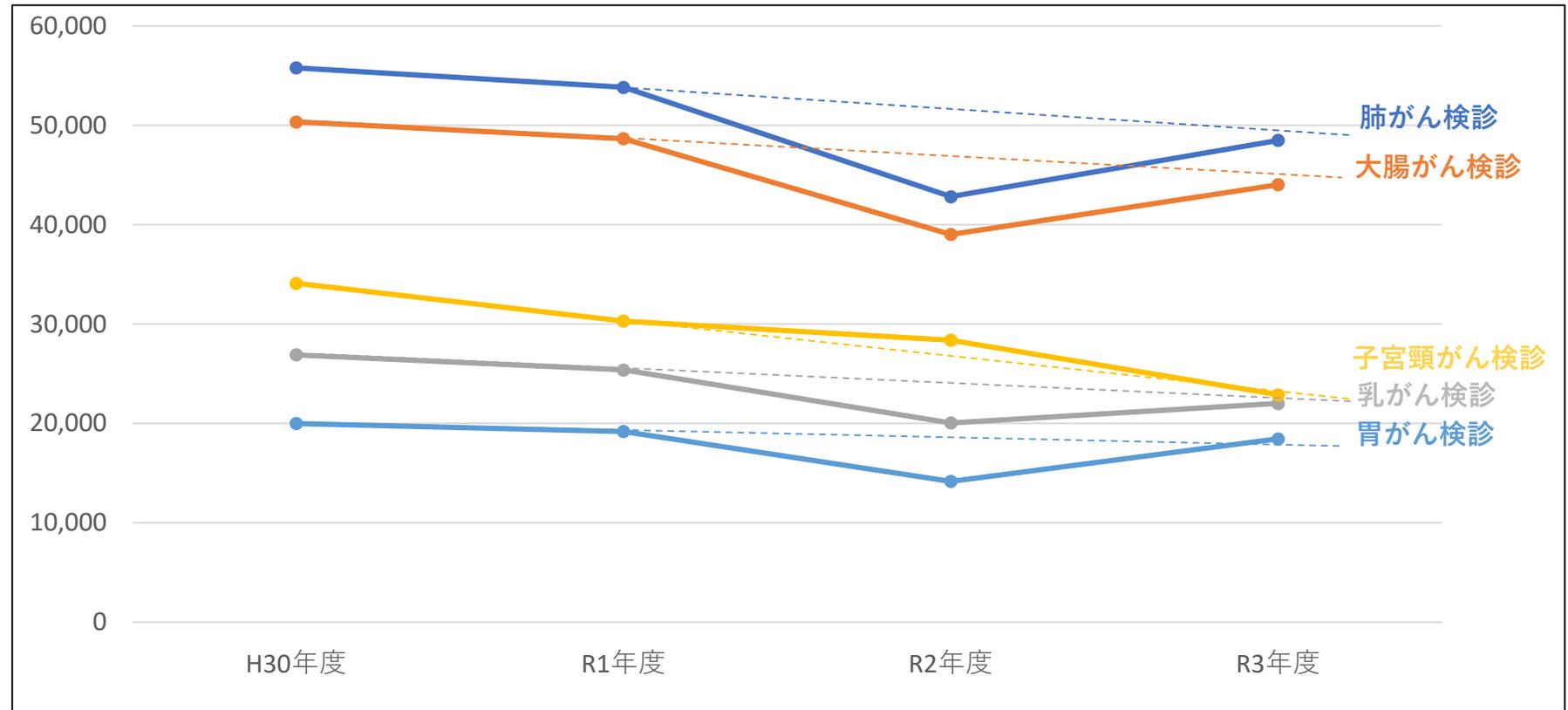
(胃がん、乳がん、子宮頸がん検診の受診率は、2年間の受診者数を使用するため、当該年度の受診者数が増えても受診率は増加しない場合がある。)

# 3 コロナ下における山梨県のがん検診

## 新型コロナウイルス感染症による市町村がん検診への影響について

(R3年度の受診者数は山梨県が調査した速報値であり、地域保健・健康増進事業報告に基づいた確定値でない)

### ○ 受診者数への影響



※点線は、「H30年度からR1年度の減少傾向が翌年度以降も継続した」と仮定した場合の受診者数を表す。

- R3年度の受診者数は、H30年度からR1年度の減少傾向が続いた場合の想定受診者数(点線のグラフ)とほぼ変わらないことから、新型コロナウイルス感染症による市町村がん検診への影響は、ほぼ解消されたと思慮される。